

生産は前月から一転し増加 物価上昇で消費支出額は増加を継続、住宅需要は堅調

8月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、2カ月ぶりに前年同月比プラスとなった。汎用・生産用機械工業（同+62.9%）や化学工業（同+52.7%）など、ウェイトの大きい業種が上昇し、全体の生産指数を押し上げた。

9月の大型小売店販売（百貨店・スーパー）は、既存店（店舗調整後ベース）で同+2.1%と30カ月連続のプラス。専門量販店別では、ドラッグストアが同+1.2%と28カ月連続プラスのプラスとなった。

新設住宅着工戸数は、4カ月連続で前年同月比プラス。持家は3カ月連続の前年同月比プラス、貸家も4カ月連続でプラスとなった。

各指数の矢印については
現状の景況感をあらわす。



上向き



横ばい



下向き

鉱工業生産指数



前年同月比2カ月ぶりプラス（8月）

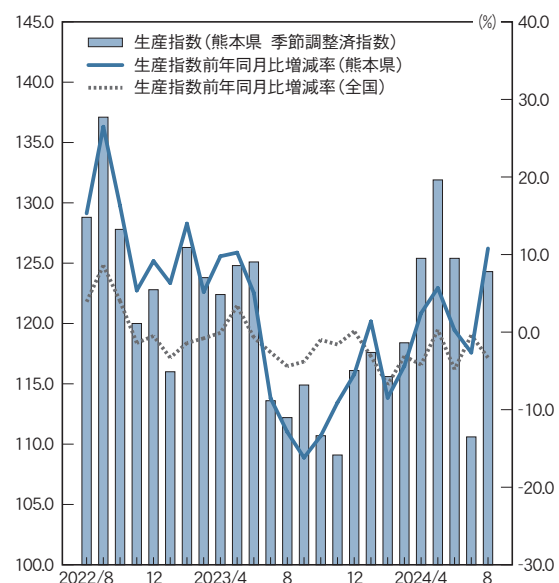
8月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、速報値で前年同月比+10.8%の124.3と2カ月ぶりにプラスとなった。

生産指数（季節調整済）を業種別にみると、汎用・生産用機械工業（前年同月比+62.9%）や化学工業（同+52.7%）など3業種が上昇した。一方で、電気機械工業（同▲69.0%）や輸送機械工業（同▲35.8%）など14業種が低下した。

業種別寄与度を見ると、化学工業が+6.60ポイント、汎用・生産用機械工業が+6.32ポイント、電子部品・デバイス工業が+1.92ポイントとなり、全体の生産指数を押し上げた。

なお、電子部品・デバイス工業の分類に含まれる集積回路（原指数）は215.2（同+29.5%）と上昇した。

鉱工業生産指数前年同月比（2020年=100 季節調整済）



※最新月は速報値
資料：熊本県統計調査課、経済産業省

住宅着工



着工戸数は4カ月連続前年比プラス(9月)

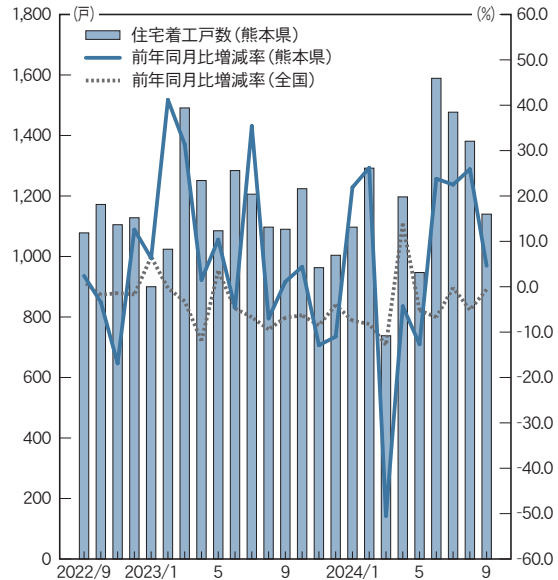
9月の新設住宅着工戸数は、前年同月比+4.6%の1,140戸となり、4カ月連続のプラスとなった。

利用関係別にみると、持家が349戸（前年同月比+0.3%）、貸家は600戸（同+10.9%）、分譲は190戸（同▲4.5%）となっている。

持家は今年7月に18カ月ぶりに前年同月を上回り、3カ月連続で前年同月比プラスとなった。また、貸家も4カ月連続で前年同月比プラスとなった。

なお、全国の9月の新設住宅着工戸数は、68,548戸（同▲0.6%）となっており、5カ月連続マイナスとなった。

新設住宅着工戸数前年同月比



資料：国土交通省

公共工事



請負金額は前年比プラス(10月)

10月の公共工事件数は前年同月比+12.6%の607件となり、請負金額は同+38.5%の294

億84百4千万円（前年同月比+135.0%）、県は86億99

百万円（前年同月比+135.0%）、県は86億99百万円（同▲32.0%）、市町村（除熊本市）は91

億47百万円（同+73.2%）となって [ご入会はこちらから](#)

（入力は数分で終わります）

[会員の方ははこちらから](#)

公共工事請負金額前年同月比

